

Wonder Box

Wonder Boxプラントシステム（超高速発酵法、UHPPMM）

性能：

1. 10日間で汚泥を完全発酵。（世界最高の発酵完了速度）
2. 施設内外への無臭化を実現。
3. 汚泥の90%を減量。（世界一の減量化率）
4. 有機汚泥を高品質の微生物有機肥料「バイオワンダー」に再生変換。
5. 驚くほどシンプルな汚泥処理・再生プラントで導入、ランニングでのローコストを実現。
6. B.T.O 200~300kg/日少量の汚泥量から50t/日という大量プラントまで必要な処理量によって設備の対応が可能ですから、無駄な初期投資は必要ありません。
将来処理量の増加に対応して増設も簡単です。



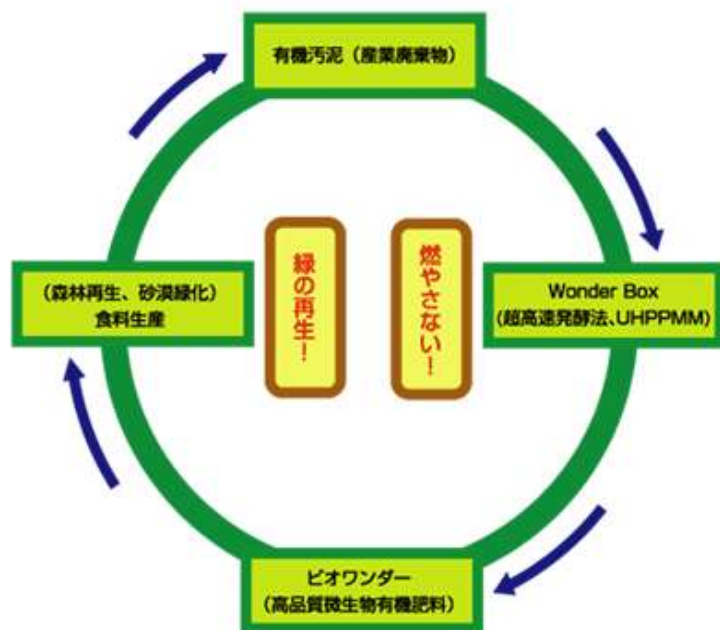
導入によるメリット

1. 大幅なコストの削減。
廉価なプラント導入コスト、ランニングコスト。
2. 化石燃料を使用しないことによる、地球温暖化ガスの排出ゼロ。
3. 有機系産業廃棄物の、完全再生資源化が計れる。
4. 再生資源「バイオワンダー」は、緑の生産に寄与し二酸化炭素を吸収する。

再生物「バイオワンダー」は、高品質な微生物有機肥料であり、地球上の緑の再生に大きく寄与出来る。環境に優しい高品質な微生物有機肥料である事から、どんな土壌環境でも手軽に使用でき安全で美味しい糧物の生産が可能であり、地球上から飢饉をなくすことも可能である。

「燃やさない！ 緑の再生！」持続可能な循環技術 「IWABUCHI-WAY」

地球温暖化の原因は、化石燃料の使用過多、そして緑の減少です。
持続可能な循環技術「IWABUCHI-WAY」は、地球環境に負荷をかけない技術。『燃やさない！』『緑の再生！』を可能にしました。
京都議定書が批准され2005年2月から二酸化炭素の排出に大きな責任が課せられます。「IWABUCHI-WAY」は正に待たれていた技術と言えるでしょう。
また、有機汚泥（産業廃棄物）は、前述したように窒素、リン酸、カリウムという貴重な肥料元素がバランスよく含まれ、また有用な微生物も多く介在している21世紀の貴重な有効資源です。
この資源を有効に再生変換する技術が（超高速発酵法、



焼却処分の地球環境への負荷

1. 膨大な化石燃料の消費、コストの大きい処理。
2. 温暖化ガスの排出。
3. 資源の成分を活かした、有効利用ではないこと。
4. 将来再生不可の新たな産廃を生産。

堆肥化、乾燥汚泥の農地散布という地球環境への負荷

1. 長年にわたる自然発酵による農地での温暖化ガスの発生。
2. 再生技術が低く悪臭、低品質のため、使用者が少なく埋立処分、